

～地域コミュニティづくりへの女性の参画の促進を目指して～

「ゴールド集落における高齢者の生活支援の充実を図るコミュニティサロン展開事業」の構想

産業経済分科会（3-1班） 内野、大原、木村、徳永、松永

薩摩川内市においては合併後、各地域の地域コミュニティ団体を「自治会」という呼称に統一し、新たに自治会を含む各種公益団体を統合して、概ね小学校区を範疇とする「地区コミュニティ協議会」が設置された。その背景には、合併によって行政区域が広がり住民の声が行政に届きにくくなるのでは？ということがあったと聞きましたが、私たちは今も「地域コミュニティにおける地域課題をみんなで考える場がない～」という思いを共有する中で、地域コミュニティの方針決定への女性の参加の現状についての問題意識が深くなり、私たちのグループの調査研究のテーマを「女性の参画による地域コミュニティづくり」とした。

テーマについての現状として把握されたこと

○地区コミュニティ協議会、自治会の運営には、依然として固定的な性別役割分担意識が根強い。○地区コミュニティ協議会には、多様な人々が抱える多様な生活課題の解決を目指す活動のありかたが期待されているが、地域住民の声を代弁しているとは言えない状況にある。○世代・性別・障がいの有無などを超えた多様な住民が交流する場が少ない等。

これらの現状から抽出された課題は

地域で暮らす私たちが、地域生活者の視点で生活環境を見直し共通の課題のもとに自治と共同の力で地域生活課題の解決に向けた活動の場である地域コミュニティにおいて、様々な活動に住民の多様なニーズを反映するためには、○世代・性別・障がいの有無などを超えた多様な住民の参加と交流の機会と場を地域コミュニティにつくりだすこと ○地域コミュニティづくりに向けた活動において、さらに生活支援の充実を図ること ○地域コミュニティにおいて女性の参画が進まない要因となっている意識改革と慣行の改善に取り組むことが必要であるということに集約された。

これらの課題を解決するために

私たちが構想した地域づくり事業は、世代・性別・障がいの有無などを超えた多様な住民の参加と交流の機会と場を地域コミュニティにつくりだすことを意図した地区生涯学習の新たな展開を基盤に置く。この中で、女性の参画を阻害する要因ともなっている、地域コミュニティづくりには「一人ひとりの人権の尊重」を基本として多様な人々の多様な個性と能力が生かされることが不可欠であることについて地域住民の意識改革とコミュニティづくりに係る運営や活動のありかたにおける慣行の改善に向けて取り組む。この基盤を踏まえる地域コミュニティによる地域生活課題の解決に向けた実践の場として、現在、地域コミュニティにおいて様々な形で行われているサロン活動に注目し、特に、一人暮らしの高齢者支援活動や見守り安否確認事業など地域の実情からのニーズが高いゴールド集落の高齢者に係る生活支援の充実を図るコミュニティサロンの展開に取り組む。

①「地区生涯学習の新たな展開」②「生活支援の充実を図るコミュニティサロンの展開」は連関しており、①によって多様な住民の参加と交流の機会と場がつくりだされることによって、地域コミュニティの「共同と自治」の力によって取り組むべき地域生活課題は何か・・・が共有され②に住民の声が反映される。また①によって地域コミュニティづくりや男女共同参画の学習を実施することにより、女性をはじめ多様な人の地域コミュニティづくりへの参画が促進され、その学習の成果を還元する参画の場として②に取り組む。①、②の取組を通して、地域コミュニティづくりを積極的に担う多様な人材を養成する環境を整えることにより女性のリーダーを増やしていきたい。

この構想の付加価値

- ・多様な住民の参加と交流する機会や集まる場が作り出される。
- ・地域コミュニティの「共同と自治」の力によって取り組むべき地域生活課題が共有される
- ・住民の声が反映される ・地域コミュニティづくりや男女共同参画の学習が実施される
- ・学習の成果を還元する参画の場として取り組める ・本事業の取組を情報誌等で広報し全市民的に発信することにより他のゴールド集落におけるコミュニティづくりのモデル的事例として提示し、そのきっかけとなる。 ・自治会への加入が促進される。

この構想により利害が及ぶ人

- ・対象地域に暮らす住民 ・過疎地域(ゴールド集落の住民) ・地区コミ関係者
- ・子育て世代の親子 ・シングルマザー ・シングルファザー ・高齢者
- ・現行の生涯学習を担っている人
- ・現行のふれあい・いきいきサロンを担っている人

長期的(3～5年程度)経営計画

- 新たな展開による生涯学習の定着
- ゴールド集落コミュニティサロンの定期的開催の定着
- ゴールド集落におけるコミュニティづくりを考える報告会または、座談会
- シンポジウム等の開催・・・ゴールド集落の人々の姿を写真で記録。
- 地区コミ巡回写真展の開催 世代・性別・障がいの有無を越えた多様な住民が参画する場の実現のためにコミュニティサロンを開催。女性リーダーの誕生をめざし、そのプロセスで育つ女性たちと多様な人が共生するコミュニティづくりに向けた協働推進の場を確立する。相乗的に自治会加入が促進され、住民が自ら参画する事業の誕生となる

中期的(1～2年程度)経営計画

- 生涯学習講座開設に向け講座のプログラムを住民参加で考える。
- 生涯学習の順次実施。
- 生涯学習のプログラムにおいて人的資源となる知恵や技術を提供してもらいたい人、物的資源を提供してくれる人への協力要請。
- コミュニティづくり講座
- 「男女共同参画講座」
- 地域への思いを語るワークショップの開催
- 生活支援の充実を図るゴールド集落コミュニティサロンの実施に向けた内容の検討
- コミュニティサロンの利用を働き掛ける広報活動
- コミュニティサロンの運営に係るボランティアの確保と研修の実施
- ゴールド集落コミュニティサロンの開催
- 「生涯学習で得た成果を生かす場・実践の場にする」
- ・一人暮らし高齢者の安否確認弁当配食事業→地元の畑で採れた野菜を中心におかずを調理(1パック100円)で届ける(料理を学びながらボランティアで安否確認)
- ・まごころ郵便配達事業→配達員による声かけ(週1回)、季節の便りを届ける(絵手紙など)
- ・畑で作った大根で切干大根づくり(1袋100円)で販売。畑でできたジャガイモでコロッケなどづくりコミュニティで会食・販売した売り上げを貯めてみんなで温泉旅行・夏祭り、運動会(企画・運営・実行)に地域全員が1人1役。
- 生涯学習・コミュニティサロンの実施後の評価

短期的(数ヶ月)経営計画

- ゴールド集落の地区コミ、自治会役員への事業説明会を開催
- 事業の主体となる人材確保のためのアウトリーチ活動(実施地の女性の参画を働き掛ける等)と、その組織化
- 事業の実施候補地へのアウトリーチ活動
- 事業の実施地とするゴールド集落の住民を対象とする事業説明会の実施
- 実施地のゴールド集落における現状と課題をお互いに知り、考える意見交換会の実施
- 住民アンケートの実施に向けた調査票の作成
- 住民アンケートの実施
- どこにだれがいるかまたは、どこに何があるかを共有する実施自治会エリア内の社会資源調査の実施
- 意見交換会・住民アンケート調査・社会資源調査の分析
- 実施地の状況を踏まえた事業構想の調整

実現のための制約要因

- 活動をする場所の確保
- ・実施主体となる人たちの活動拠点
- ・コミュニティサロンや生涯学習のための場所

実現のための制約要因

- ・地域住民の協力 ボランティアの確保
- ・事業に賛同する地区外の協力者の確保
- ・実行するためのスキル
- ・活動資金の調達

獲得すべき経営資源

- 人的資源**・・・実施地となるゴールド集落の住民 生涯学習・コミュニティ・サロン実施のための知識・技術を有する人
- 情報資源**・・・市が発行する(市民だより)等各種広報紙・誌、市HP、FMさつませんだい、新聞、テレビ、学校・幼稚園等
- 物的資源**・・・地区コミ会場

財務的資源・・・運営するための資金

そのために必要なネットワーク化

- ・協力してくれるメンバーの掘り起し 鹿児島県共生・協働推進課 男女共同参画センター NPO法人
- ・薩摩川内市役所(コミュニティ課、社会教育課、教育委員会、高齢介護・福祉課等) ・薩摩川内市社会福祉協議会 ・民生委員 ・健やか支援アドバイザー
- ・地区コミ役員 ・自治会長